

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	30	学校名	仙台市立若林小学校	校長名	見田 佳代
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のテーマ 広瀬川を知ろう



2 取組の紹介

若林小学校の校庭のフェンスの向こう側には、美しい広瀬川が流れています。広瀬川河川敷は、近隣の住民の散歩コースになっており、児童は幼いころから広瀬川に親しんでいます。川のことや生き物のことを知らない子供がとても多いと感じます。

本校では、「総合的な学習の時間」や「生活科」などで、身近な環境である「広瀬川」を題材や活動場所にした学習に継続的に取り組んでいます。

○1年生・特別支援学級

生活科「むしをさがそう」で、年2回河川敷に出かけ、虫捕りを楽しみ、河原のどこに虫がいるかなど、虫の育つ環境に関心を持たせています。

○3年生

総合的な学習の時間「広瀬川を知ろう」で、インストラクターの指導の下に、川の生き物探しや安全講習を行う広瀬川自然体験学習を行っています。インストラクターから水生生物について学び、生物の多様性について考えます。また、水遊びの直前には、川遊びでの危険性や服装などの説明を受け、安全な遊び方を身に付けています。



○5年生

理科「流れる水のはたらき」の単元で、自分たちにとって身近な広瀬川を例に、流れる水の力や地形の複雑さなどを学びました。



3 取組の成果（児童の変容）

川を「行ってはいけない場所」として遠ざけるよりも、川遊びや河川敷での活動をとおして自然を体験し、何がどう危険かを理解したほうが、自分の身を守れることに気がきます。

広瀬川での川遊び体験を通して、水中では自分の思うようにならないことが多いことを知り、川の危険性と楽しさを実感しています。また、安全に遊ぶために、川遊びに適した場所や服装に関する知識を身に付けました。

また、夢中になって川や河原の生き物を探したり捕まえたりする経験が、水生生物や虫への愛着や環境保全への関心につながっています。また、河川敷での運動や散歩で、広瀬川の自然に親しみ、その魅力を感じました。自分の地域を知って好きになり、その環境について興味を持つことが、地球環境を考えるためのきっかけとなり一歩となっています。